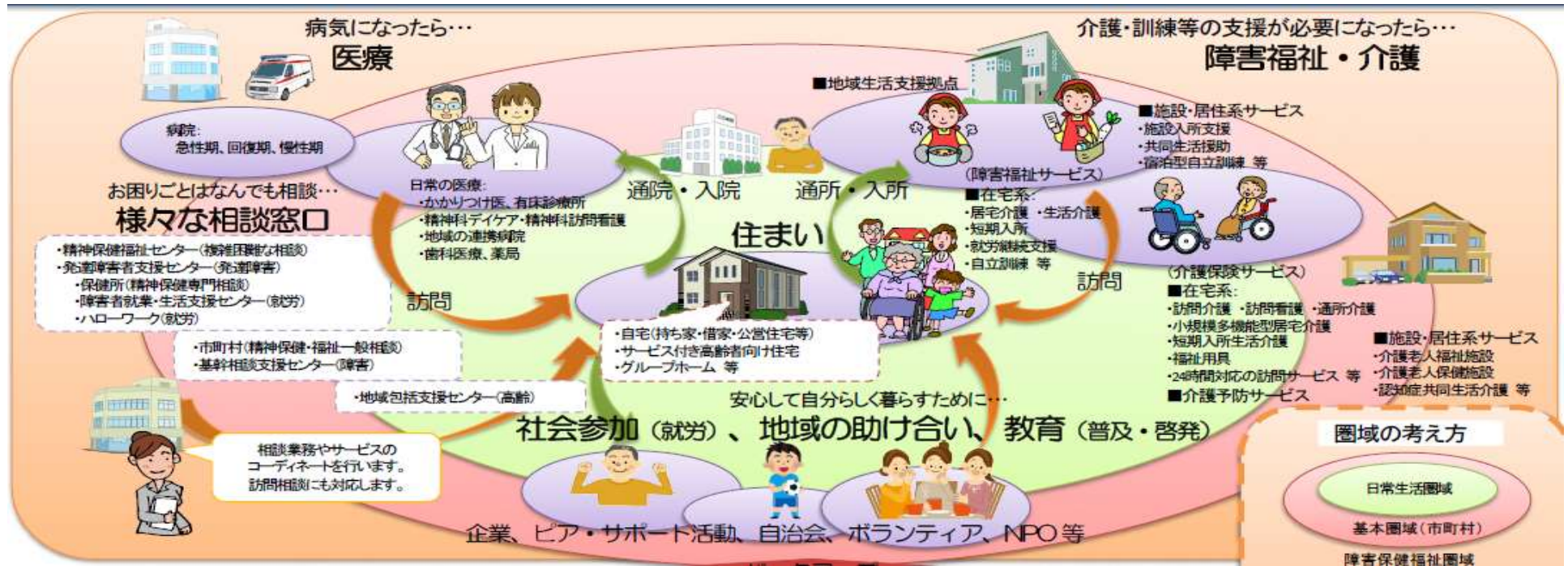


（３）精神障害者にも対応した地域包括 ケアシステム構築推進事業について

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムとは？



【目的】

- ・精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう 医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指しています。
- ・地域の基盤整備とともに、市町村や障害福祉・介護事業所が精神障害の程度によらず地域生活に関する相談に対応できるよう、圏域ごとの保健医療・福祉関係者の協議の場を通じ、重層的な連携による支援体制を構築します。

国が定めた事業メニューは下記の9つとなっており、自治体の実情に応じて実施する。
千葉県では3分科会（進め隊・広め隊・深め隊）を設置して活動を展開。（太枠の事業）

①精神保健医療福祉体制の整備に係る事業

②普及啓発に係る事業

③住まいの確保と居住支援に係る事業

④当事者、家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業

⑤精神医療相談・医療連携体制の構築に係る事業

⑥精神障害を有する方等の地域生活支援に係る事業

⑦地域生活支援関係者等に対する研修に係る事業

⑧市町村等における相談支援体制の構築に係る事業

⑨その他、地域包括ケアシステムの構築に資する事業

事業実施状況

(1) 精神医療福祉体制の整備に係る事業

○地域包括ケアシステム構築推進連携会議

- ・開催回数 3回（3月に3回目を開催予定）
- ・構成員 25名（精神科病院、障害福祉サービス事業所、あんしんケアセンター、家族会、法曹関係、行政職員等）
- ・協議内容 事業計画の企画立案・検討、実施状況の報告など

○構築推進サポーター事業（進め隊）

地域移行支援の経験のある事業所と経験の少ない事業所をマッチングし、地域移行のノウハウをレクチャーしながら事業所を育てる制度（OJT）

（令和6年度）

- ・支援ケース 2件
- ・新規OJT事業所 2事業所
- ・支援回数 延20回
- ・退院ケース 1件
- ・次年度継続ケース 1件

事業実施状況

(2) 普及啓発に係る事業

○市民向け普及啓発活動（広め隊）

開催日	場所	参加人数	内容
7月20日（土）	山王公民館（稲毛区）	37名（会場：17名 オンライン：20名）	地域の特性や実績に合わせた内容で実施。
10月19日（土）	さつきが丘公民館（花見川区）	16名（会場のみ）	
10月26日（土）	松波会館（中央区）	50名（会場のみ）	
3月8日（土）	大宮公民館（若葉区）	—	

※美浜区及び緑区については、諸事情により開催が中止となった。

さつきが丘公民館 講演会



○若年層向け普及啓発活動（広め隊）

開催日	場所	参加人数	内容
11月28日	植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科	23名（大学2年生）	地域及び医療機関での役割や実際に地域で勤務している作業療法士の方の体験談等を実施し、役割の必要性についてグループディスカッションを実施した。
12月3日	淑徳大学総合福祉学部精神保健福祉士課程	16名（大学3年生）	精神保健福祉士として患者及び家族と模擬面接を通して、精神疾患の特徴や考え方を感じてもらい、「にも包括」の重要性や支援について考えてもらった。
12月18日	千葉県立幕張総合高校看護学科	38名（専攻科1年生）	看護師として患者と模擬面接を行い、振り返りの中で精神疾患の特徴や考え方等を感じてもらった。また、ディスカッションの時間では「にも包括」の重要性や支援について考えてもらった。
1月23日	植草学園大学発達教育学部	86名（大学1年生）	にも包括における関係機関（精神科病院・地域事業所）の役割や放課後等デイサービスに勤務している保育士からの体験談について講演し、学生との対話形式で必要性を考えてもらった。

幕張総合高校 講演会



事業実施状況

(2) 普及啓発に係る事業

○心のサポーター養成研修（座学＋実習） **令和6年度新規**

メンタルヘルスやうつ病や不安など精神疾患への正しい知識と理解を持ち、メンタルヘルスの問題を抱える家族や同僚等に対する、傾聴を中心とした支援者
（小学生からお年寄りまでが対象）

第1回養成研修（12/9開催）

対象者：千葉市役所職員及び関係機関職員
参加者53名を「こころのサポーター」
として認定

講演内容：「心のサポーターとは」（共通研修）
「こころの病気について学ぶ」（選択研修）



事業実施状況（４）当事者、家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業

○合理的配慮研修（深め隊）

開催日	対象者	参加人数	場所	内容
8月22日	教職員	50名	長浦おかのうえ図書館	君津地方教職研究会の職員を対象に、学校における合理的配慮や当事者の学生時代におけるリカバリーストーリーを中心に研修会を行った。
9月13日	精神障害者の家族	33名	千葉県こころの健康センター	こころの健康センターで実施している「家族向け講演会」とコラボし、当事者4名におけるリカバリーストーリーを中心に家族や当事者の思い等含め質疑応答で実施した。
11月8日	精神障害者の家族	29名	千葉県こころの健康センター	
11月22日	大学生（看護学科）	132名	帝京平成大学健康医療スポーツ学部看護学科	合理的配慮について、法律や当事者の話しを中心に講演会を行い、看護師としての姿勢や声掛け等をディスカッションを通じて理解を深めた貰った。
－	企業の従業員	－	－	今年度、複数社で合理的配慮に関する研修の実施を検討していたが、諸事情により1社のみ関係資料の社内共有にとどまった。令和7年度については、改めて様々な企業とタイアップできるよう検討中。

こころの健康センター
における研修会



事業実施状況 （４）当事者、家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業

○地域における福祉・医療サービス何でも相談会 **令和 6 年度新規**

- ・開催日：10月7日（ハイブリッド）
- ・参加人数：24名（会場：14名 オンライン：10名）
- ・内容：精神科等に通院している方や家族、心の不調を感じている市民の方を対象に、地域における福祉・医療サービスについて各専門機関による講演会を実施。当日は、サービスにつながっていない方やこれから支援を受けようかと考えている方から各専門機関に個別相談し、今後のサービス利用に向けて前向きになった等の感想がありました。
- ・参加専門機関：障害者基幹相談支援センター
相談支援事業所
就労移行支援事業所
自立（生活）訓練事業所
グループホーム
訪問看護ステーション

何でも相談会の様子



事業実施状況

(6) 精神障害を有する方等の地域生活支援に係る事業

○地域移行・地域定着支援に関する相談員交流会（進め隊）

精神科病院相談員（精神保健福祉士）交流会

- ・開催日：7月12日（金）
- ・参加人数：6名（市内6医療機関）
- ・内容：各医療機関の機能や地域移行・退院調整についての課題等の共有を行い、地域との連携の方法等の検討を行った。

相談支援事業所相談員交流会

- ・開催日：1月31日（金）
- ・参加人数：25名（会場：24名 オンライン：1名）
- ・内容：進め隊で作成した地域移行支援手順書の説明及び医療機関と地域移行支援事業所が協力して実施したケースの共有を行い、実際に地域で困っていることの課題抽出を行った。

相談支援事業所交流会の様子



事業実施状況

(7) 地域生活支援関係者等に対する研修に係る事業

令和3年10月に実施した地域移行に関するアンケートから、医療機関と地域事業所に対する研修会を開催することとした。

病院研修の様子

○病院研修（進め隊）

- ・開催日：12月6日（金）
- ・参加人数：18名（医師・看護師・薬剤師・PSWなど）
- ・内容：地域移行支援手順書を利用した地域移行支援の流れや事例紹介、関係機関の役割の説明などを行った。



○地域事業所向け研修（進め隊）

昨年度、千葉市障害者基幹相談支援センターとのコラボで地域向け研修会を実施したが、今年度は日程が合わず、実施できなかった。

令和7年度では、様々なイベントと複合して実施を検討している。

○全体研修会（地域移行支援者研修会）

- ・開催日：2月18日（火）
- ・参加人数：24名
- ・1年間の活動の振り返りとして、各隊の活動報告を実施。

今後の事業方針

- 引き続き、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議や各分科会を軸として活動の幅を広げ、研修等もより一層、積極的に展開していく。
- 地域移行を円滑に進められるよう精神科病院及び事業所等との連携の強化や、地域住民等への広報・啓発活動をより推進していく。
- 地域移行だけではなく、地域定着にも力を入れ、住み続けられる環境整備のほか、課題集約および各関係機関の実情を把握し、より良い支援体制の構築を図る。
- 心のサポーター養成研修については、市民を対象とした研修を実施するほか、高校や大学等を実施場所とし、学生や教員を対象とした研修を開催し、認定者の増加を図る。